

講義内容詳細：多文化共生基礎

年度	2021
授業科目名	多文化共生基礎
学期	秋学期
教員名	木下理仁、加藤丈太郎、島村暁代、小貫大輔、アルモーメン・アブドール、古橋 綾

講義概要

グローバル化の加速により、日本社会の多言語・多文化化が進行するなか、ホスト社会と在留外国人のあいだでさまざまな問題が顕在化してくるようになり、全国各地で多文化共生の推進が急務となっています。本授業では、在留外国人をとりまく動向や歴史的経緯、政策や制度などに関する基礎知識を身につけるほか、さまざまな課題に最前線で取り組む方々を迎え、リレー形式で「多文化共生のいま」をテーマに講義を行います。

達成目標

日本社会の多言語・多文化化の進行状況と、そこで発生する諸課題、その解決に向けてのさまざまな取り組みを知るとともに、困難な状況にある人々への共感的理解を深めることを目標とします。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

特になし。

授業計画

1	授業計画	ガイダンス【木下理仁(東海大学教養学部国際学科非常勤講師)】 講座の趣旨説明、各回の講師の紹介を行います。また、日本社会の多文化化の状況と課題について感じていることなどを話し合います。
	事前学習	シラバスを確認する。
	事後学習	ガイダンスの内容を踏まえ、本科目が扱うテーマを把握する。
2	授業計画	日本社会の多言語・多文化化と「多文化共生」【木下理人】 1980年代後半から急速に進んだ日本の多言語・多文化化について、その表層と深層の状況を知り、本科目で扱う諸問題のベースとなる知識を得るとともに、「多文化共生」という考え方について学びます。
	事前学習	在住外国人に関わるニュースをチェックしたり、関連の図書を読んでおく。
	事後学習	講義内容を踏まえて、「多文化共生」に向けての課題を考える。できれば外国人住民が多く居住する「集住都市」を訪問して、その現実に触れて体験学習することが望ましい。 ※新型コロナウイルス感染症の推移いかんによっては、代替案が講師から提示されることがあります。

3	授業計画	出入国在留管理制度—制度における課題と改善点【加藤丈太郎(早稲田大学国際学術院アジア太平洋研究センター助教)】
	事前学習	2021年国会での入管法改正をめぐる新聞記事(2つを目安)に目を通す。
	事後学習	出入国在留管理基本計画(法務省HPよりDL可能)を通読し、課題点を考える。
4	授業計画	技能実習制度—なぜ「失踪」が起きるのか【加藤丈太郎】
	事前学習	技能実習制度の利点・改善点の両方(それぞれ2つを目安)をご自身で洗い出しておく。
	事後学習	法務省技能実習制度の運用に関するプロジェクトチーム「調査・検討結果報告書」(法務省HPよりDL可能)を通読し、課題点を考える。
5	授業計画	難民認定制度と非正規移民をめぐる課題【加藤丈太郎】
	事前学習	法務省HPを参照し、最新の難民認定数、「不法残留者」数を把握しておく。
	事後学習	難民受け入れに関して、新聞記事・書籍を参照の上、日本以外の一つの国と日本を比較する。何が相違点であるかを考える。
6	授業計画	外国人の労働問題【島村暁代(立教大学准教授)】 少子高齢化が進み労働力人口が減少する中で、入管法が改正され、より多くの外国人が日本で就労できるようになりました。外国人労働者の受け入れには一定のメリットがありうる一方で、十分な受け入れ準備をしておかないとさまざまな法的問題が生じうることも事実です。この授業では、外国人の労働に関する諸問題について学びます。
	事前学習	外国人の労働問題に関わるニュースをチェックしておく。
	事後学習	講義内容を踏まえて、外国人労働者の受け入れに関わる問題についてさらに調べる。
7	授業計画	外国人の社会保障法上の位置づけ【島村暁代】 この講義では外国人が年金や医療保険、生活保護等のさまざまな社会保障制度の中でどのように位置づけられているかを学びます。
	事前学習	外国人の社会保障に関連するニュースをチェックしておく。
	事後学習	講義内容を踏まえて、外国人の社会保障にかかわる問題について更に調べる。
8	授業計画	異文化間コミュニケーション【小貫大輔(東海大学国際学科教授)】 毎日当たり前のように繰り返す「こんにちは」の挨拶。でも、私たちはなぜその度に「頭をさげる」のでしょうか。世界には、毎回毎回「右手を握り合う」文化もあれば、「頬を寄せあってチュッと音をたてる」文化もあります。身体を通じて文化が私たちに教える(あるいは押しつける)メッセージとは何か、実際に様々な文化を体験してみることで考えてみたいと思います。
	事前学習	特になし。
	事後学習	講義内容を踏まえ、異文化間コミュニケーションについてさらに調べる。

9	授業計画	ブラジルから来た子どもたちの現状と教育に関する諸課題【小貫大輔】 1990年代、日本への「逆移民」を始めた日系ブラジル人たち。日本各地にいくつもの集住地を形成しました。多くの場合、子どもを連れて家族での移住だったことから、地域の公立学校と、日本の学校教育そのものにたくさんのクエスチョンマークを突き付けることになりました。あれから30年近くの時間がたち、日本の教育は何か変わったのでしょうか？
	事前学習	日本で暮らす外国人の子どもの教育に関するニュースをチェックしておく。
	事後学習	講義内容を踏まえて、外国学校の実情や公立学校における多文化教育についてさらに調べる。
10	授業計画	日本のイスラム教徒:その1【アルモームン・アブドール(東海大学国際教育センター教授、大学院文学研究科教授)】 「イスラーム」という宗教・文化と日本で暮らすイスラム教徒のことを知ると同時に、イスラームへの偏見や差別、「共生」を実現するための課題について考えます。
	事前学習	イスラームに関する基礎知識を調べておく。
	事後学習	「東京ジャーミイ」(渋谷区)等の宗教施設を訪ねてみるとよい。 ※新型コロナ肺炎感染症の推移いかんによっては、代替案が講師から提示されることがあります。
11	授業計画	日本のイスラム教徒:その2【アルモームン・アブドール】 「イスラーム」という宗教・文化と日本で暮らすイスラム教徒のことを知ると同時に、イスラームへの偏見や差別、「共生」を実現するための課題について考えます。
	事前学習	イスラームに関する基礎知識を調べておく。
	事後学習	「東京ジャーミイ」(渋谷区)等の宗教施設を訪ねてみるとよい。 ※新型コロナ肺炎感染症の推移いかんによっては、代替案が講師から提示されることがあります。
12	授業計画	多文化共生をジェンダー視点で考える【古橋綾(東京外国語大学大学院非常勤講師、立教大学兼任講師)】 日本に暮らす外国人の男女比はどのようになっているのでしょうか。出身地域別や、年齢別にみるとどのようなことが見えてくるのでしょうか。それぞれのグループが抱える問題はどのようなものなのでしょうか。共通点や相違点を整理し、全ての人にとっての共生を考えます。
	事前学習	これまでの講義の内容をジェンダー視点から考えてみる。
	事後学習	講義内容を踏まえて、「多文化共生」に向けての課題についてジェンダーによって異なる対策を考える。
13	授業計画	国際結婚を取り巻く諸問題【古橋綾】 グローバル化の進展に伴い国際結婚カップルも増加しています。日本における国際結婚の歴史を制度や事例を見ながら概観し、問題となりうることを取り上げます。そして、どのような支援が求められているのか考えてみましょう。
	事前学習	身近な国際結婚カップルが抱える問題点を考えてみる。
	事後学習	講義内容を踏まえて、利用できる相談窓口・ダイヤルを調べてみる。

14	授業計画	ヘイトスピーチの背景と課題【古橋綾】 日本でも2000年代後半から話題になり始めたヘイトスピーチ。2016年には「ヘイトスピーチ解消法」が施行され、2019年10月には刑事罰を盛り込んだ条例が全国で初めて川崎市で可決されました。ヘイトスピーチが起こる背景や問題点、対策への課題について考えます。
	事前学習	日本で起こったヘイトスピーチの事例について調べてみる。
	事後学習	講義内容を踏まえて、ヘイトスピーチをなくすための課題を考える。
15	授業計画	日本社会の多言語・多文化化と私たち(意見交換)【木下理人】 本講座で学んだことを踏まえながら、多言語・多文化化が進む日本社会の課題と可能性について、参加者全員で意見交換を行います。
	事前学習	これまでの授業の内容を再確認しておく。
	事後学習	各自の関心に応じて、さらに問題を掘り下げて調べ、考える。

授業方法

オンラインによるオムニバス形式の講義

成績評価方法

コメントシート 40%、積極的な授業参加 30%、期末レポート 30% を総合して評価する。